

期間、全力で有利販売に努めてまいります。また、今年度は能代市で「ねぎサミット」が開催されることから、「10億円産地」として他産地や秋田県内外の消費者に注目されることとなります。この「ねぎサミット」を契機に、『白神ねぎ』の更なる知名度向上、産地の飛躍をめざし、ねぎ部会員の皆様のですますのご奮闘を期待しております。

また、『白神みょうが』につきましては、26年度は根茎腐敗病の広がり、27年度は雨不足からの生育遅れが見られ、販売額も1億円を下回る厳しい環境でした。しかし、今年度はシーズンを通して高値で推移したことで、新植圃場から高い評価を得たこともあり、3年ぶりに1億円の販売額を突破しました。今後は、栽培面積や出荷量の減少を回復するため、新規作付け者や新植の誘導を強化してまいります。

一方、これから収穫最盛期を迎える冬季作物の山うどやアスパラガスの生育は順調に進んでおり、今冬、販売の中心となっていく存

在と考えております。今年度の目標である青果物販売額16億5千万円を大きく超えた17億6千万円達成に向け、大きな期待を寄せているところです。

花卉については、年々着実に実績を伸ばしており、今年度は3,039万円の販売額となりました。新規作付け者も増え、今年度は二ツ井町でも栽培が始まります。今後とも部会員とともに「白神りんどう」のさらなる特産品化に向けて力を入れてまいります。

今年の第139回種苗交換会は湯沢市で開催され、当管内からは顕彰者2名、さらにネギの県知事賞をはじめ、リンドウやキャベツなど33点が入賞するなど、天候に大きく左右される厳しい栽培環境の中にあっても、品質は高い水準にあることが認められました。市場関係者からも白神産農産物への期待が大きくなり、安定供給に向けた生産拡大が求められております。今後も安全・安心な農畜産物の生産拡大を図り、消費者に選ばれる商品作りを心がけ、農家所得の向上に繋げていきたいと考えています。

また、のしろ北支店敷地内に建設中の特定施設入居者生活介護サービス付き高齢者向け住宅ですが、平成29年5月の開所に向け工事は順調に進んでおります。住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、今後も、高齢者福祉事業に積極的に取り組んでまいります。

新たな年のスタートにあたり、PPPをはじめ、農業・農協を取り巻く環境は、先の予測がしがたいた不透明な激変の時代と考えております。『農業者の所得増大』・『生産の拡大』・『地域の活性化』をめざして、地域農業の将来を見据えた「JA地域営農ビジョン」の実践運動を継続・強化するとともに、農業者の営農と地域住民の生活を支える総合事業を展開し、今後とも農業者や地域住民が一体となった協同活動に役職員一同取り組んでまいります。

本年も皆様の変わらぬご理解と、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のあいさつと致します。

理事	理事	理事	理事	理事	代表監事	常勤監事	監事	員外監事
桂田忠雄	佐々木博子	池端秀巳	戸松義盛	斉藤幸蔵	渡邊博	桂田和弘	清水英夫	大山澄子

本誌をもって、年始のご挨拶とさせていただきます。

